



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校
令和元年度 10月号

団結・絆・一生懸命

一体感を感じた体育大会

校長 松本 浩一

昨年度と違い、今年度は天候に恵まれ順調に練習が進みました。当日は夜中の雨で開催が危ぶまれましたが、なんとか雨もあがり、朝早くからの水取りの甲斐もあって（手伝ってくれた皆さん、本当にありがとう）、予定通り体育大会が行われました。

みんなの真剣な顔と笑顔。個の力の発揮と仲間の力の結集。一生懸命で、生き生きとしていて、まさに一人一人が輝いていたように思います。

様々な競技でみんなの顔を見ていました。力を出し切った充実した顔、悔しそうな顔、歯をくいしばってがんばる顔、仲間との笑顔、……。一生懸命な姿は、見る者を感動させます。

この体育大会を通して、クラスの団結、絆が深まったと思います。と同時に、学校としての一体感もすごく感じました。当日までの準備、朝の水取り、学年を越えて選手を応援する姿、こんなところがそう感じさせたのだと思います。

体育大会のあと、これを日常あるいは次の合唱にどうつなげていくかが大切です。先生方の反省の中にこんな文がありました。

- ・ 体育大会が終わったらすぐ合唱ということで、忙しく疲れるかなと思っていたら、「合唱もがんばろう！」と前向きにがんばっています。
- ・ 行事が終わり、「行事だけしかがんばれないクラスは嫌だよな」という声掛けをした

甲斐もあったのか、普段通りにやれているところや、意識して動くことができている姿をよく見かけます。

どの競技においても、本当に多くの「一生懸命な姿」を見ることのできた体育大会。そして、学校中の「一体感」を感じることもできた体育大会。ぜひ、今後の学校生活に生かしてくれることを期待しています。



躍動する旭中生

一年生



二年生



三年生

